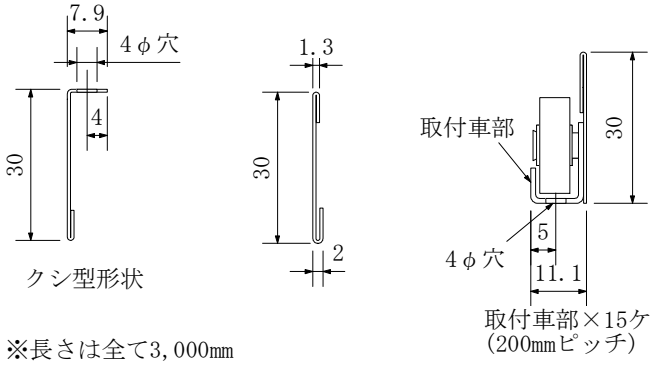
ステン曲げレール　取扱説明書

PAT

注意：「ステン曲げレール 引分用」としてご使用される方は、「ＦＩＸ用レール」に添付しております専用の「引分用」の取扱説明書に従って行なってください。

曲げレール　レール部材、金具一式詳細

①上カバー　②下カバー　③取付車レール

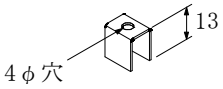


※長さは全て3,000㎜

(曲げレール　金具一式)

④ｴﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ×4個　⑤振止×1個

⑥固定具×15個



・木ﾈｼﾞ15本付き

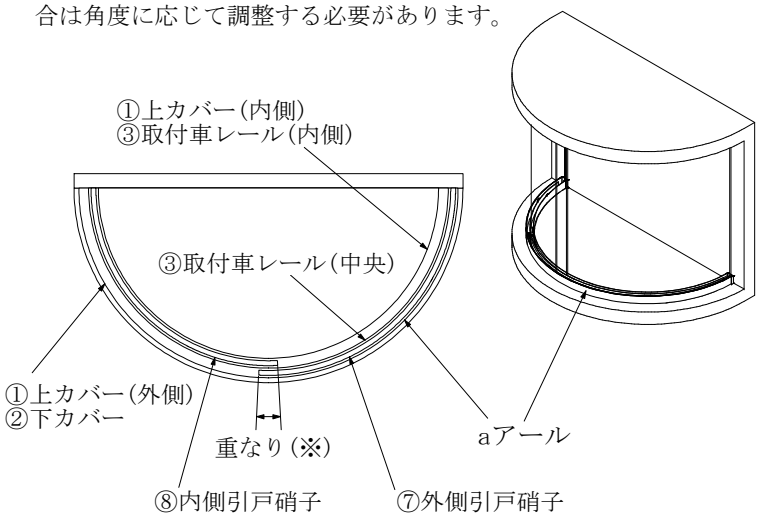
曲げレール　レール類　及び　引戸硝子の寸法設定

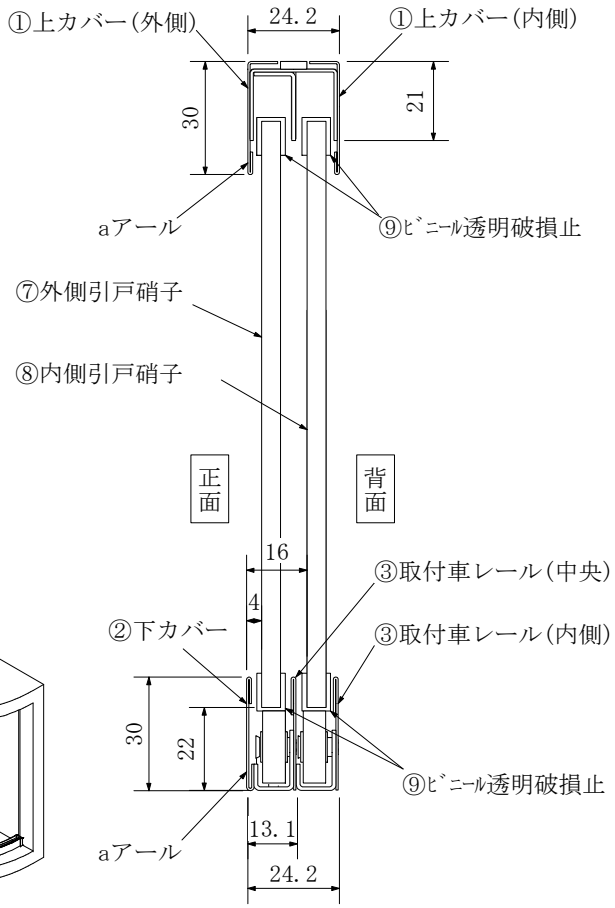
正面から見たカバー部の外径アールを「aアール」とした各々の部材の計算式を次に表します。

・⑦外側引戸硝子
　硝子アール = a-4
　硝子ワイド = (a-4) × π ÷ 2 + 25
・⑧内側引戸硝子
　硝子アール = a-16
　硝子ワイド = (a-16) × π ÷ 2 + 25

・①上カバー(外側)、②下カバー
　長さ = a × π(※) - 5
・①上カバー(内側)、③取付車レール(内側)
　長さ = (a-24.2) × π - 5
・③取付車レール(中央)
　長さ = (a-13.1) × π - 57

※単位は㎜です。
　π = 3.14で計算してください。
　引戸の重なり寸法は50㎜とします。
　また、上記の式は半円(180°)のケースのタイプのものです。それ以外のケースでご使用される場合は角度に応じて調整する必要があります。





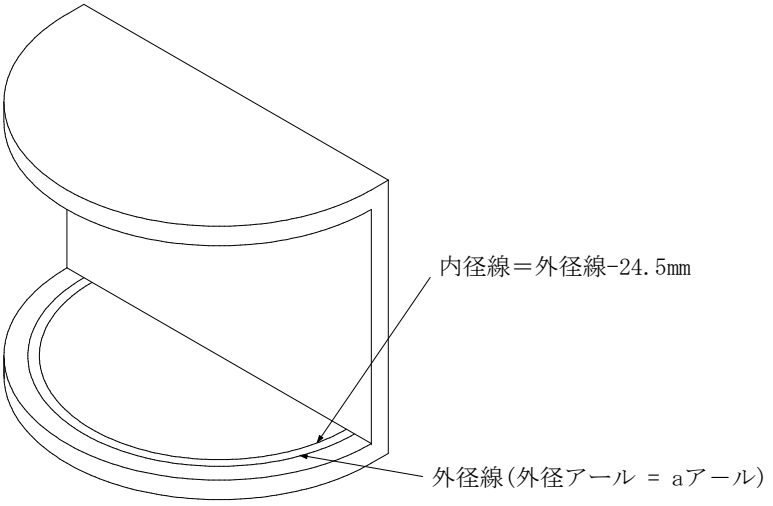
※引戸硝子は外側のアール表記になります。
注)①上カバー、③取付車レールは内側と外側により長さが異なります。

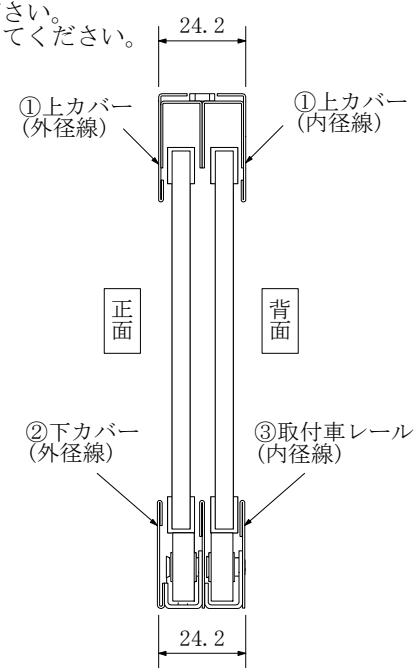
T00250-1706

スリーナイン島野株式会社

手順１．　レールを取り付ける位置の線出し

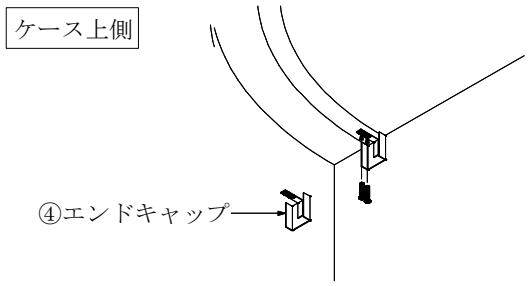
a. 外径線は正面側からみて外径アール(aアール)にあたる線出しを行なってください。
b. 内径線は外径アール(aアール)より24.5㎜控えた内径アールの線出しを行なってください。
c. 上下の線出しを行なった後に⑧⑨の引戸硝子がそれぞれ線の内側に納まっているかを確認をしてください。

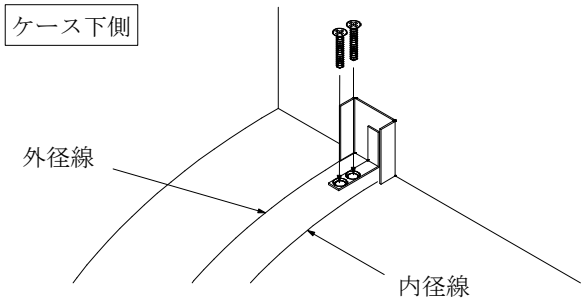




手順２．　エンドキャップの取付

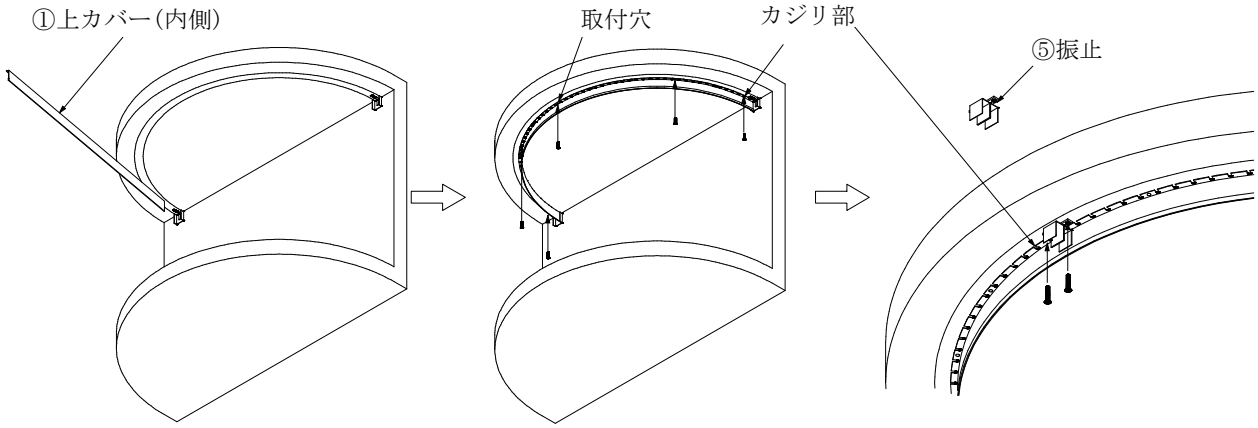
④エンドキャップをケース上下ともに、両端にネジで「手順1」で線出ししたラインをまたぐよう固定してください。
（上下各2個ずつ。）





手順３．　上カバー（内側)及び 振止 の取付

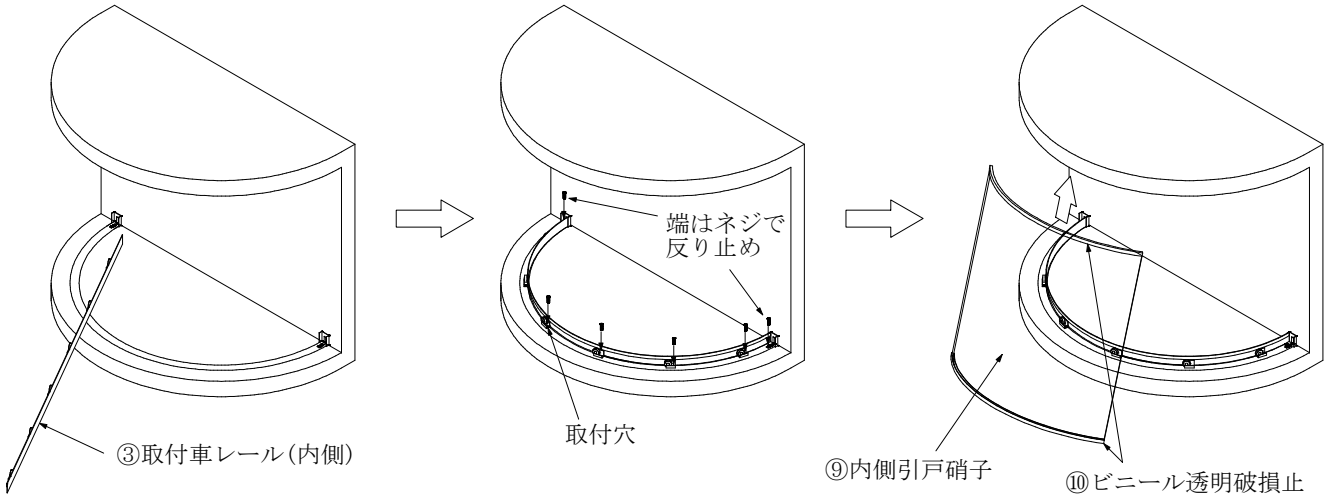
a. ①上カバー(内側)を上部の④エンドキャップの内側に納め、内径線に沿わせながら、端から順にネジで固定し、最終的に反対側の④エンドキャップに納めてください。また、両端部分は反り防止のために、図のように取付穴以外にもカジリ部を利用して固定してください。
　注)①上カバー(内側)は大変しなりやすく変形する恐れがございます。この作業は、①上カバー(内側)を変形しないように保持する人を含め最低でも３人で行なうようにしてください。
　　①上カバーの長さは内側用と外側用の2種類あるので、短いほうを使用してください。
b. ⑤振止はケース上部中央の外径線と内径線の間におさまるようにネジで固定してください。



手順４．　取付車レール(内側)の取付 及び 内側引戸硝子の取付

a. ③取付車レール(内側)を下部の④エンドキャップの内側に納め、内径線に沿わせながら、③取付車レール(内側)の取付車部に設けている取付穴に端から順にネジで固定し、最終的に④エンドキャップに納めてください。
また、両端部分は反り防止のために、図のように取付穴以外の端側にもネジを打ってください。
注)③取付車レールは内側用と中央用の2種類あるので、短いほうを使用してください。

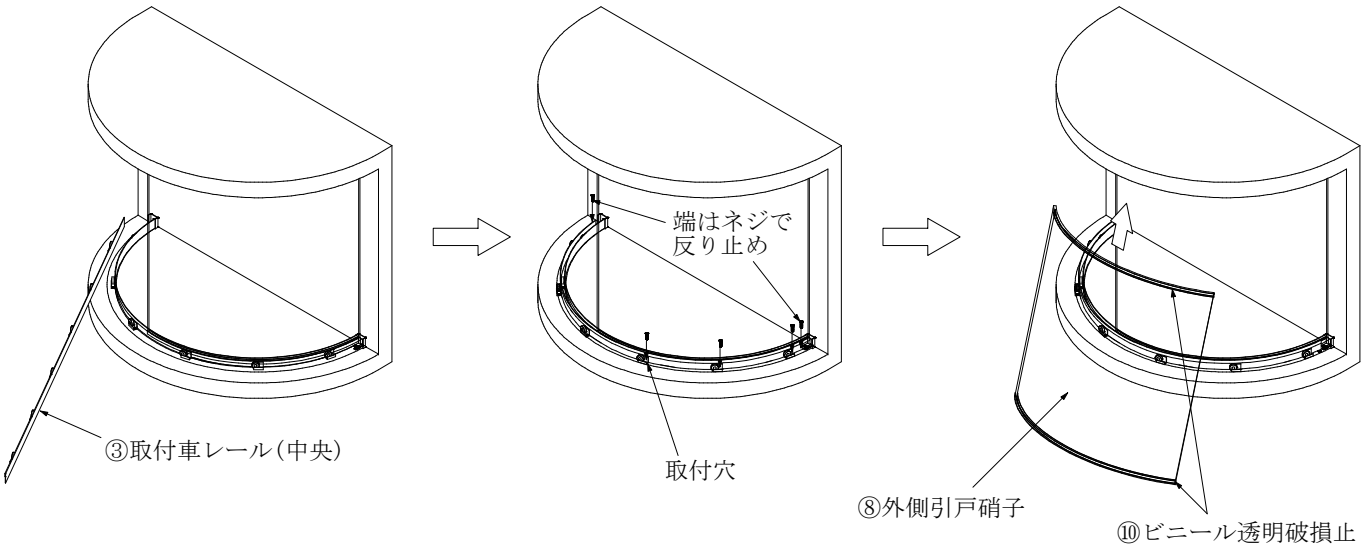
b. ⑨内側引戸硝子を⑤振止の奥にはまるように差し込み、そのまま③取付車レール(内側)のベアリングのうえに乗るようにセットしてください。その際、⑨内側引戸硝子がベアリングから脱落しないように常に支えながら保持してください。
※⑨内側引戸硝子には、上下に⑩ビニール透明破損止を両面テープや、接着剤を併用して固定してください。
また⑩ビニール透明破損止の長さは⑨内側引戸硝子と同じ寸法にカットしてください。



手順５．　取付車レール(中央)の取付 及び 外側引戸硝子の取付

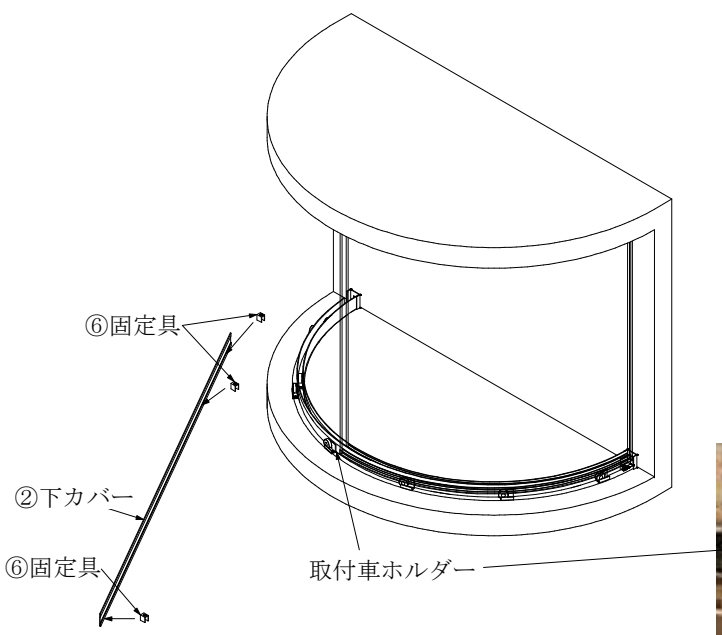
a. ③取付車レール(中央)を、先に固定した③取付車レール(内側)に押し付けながら、端から順にネジで固定してください。
また、両端部分は反り防止のために、図のように取付穴以外の端側にもネジを打ってください。
注)③取付車レール(中央)取付時は⑨内側引戸硝子が脱落しないように常に一人は保持するように行なってください。

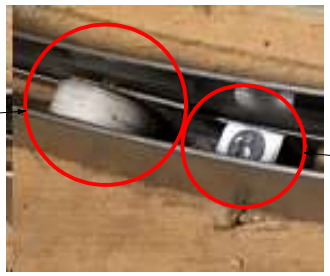
b. ⑧外側引戸硝子を⑤振止の手前にはまるように差し込み、そのまま③取付車レール(中央)のベアリングのうえに乗るようにセットしてください。その際、⑧外側引戸硝子がベアリングから脱落しないように常に支えながら保持してください。
※⑧外側引戸硝子には、上下に⑩ビニール透明破損止を両面テープや、接着剤を併用して固定してください。
また⑩ビニール透明破損止の長さは⑧外側引戸硝子と同じ寸法にカットしてください。



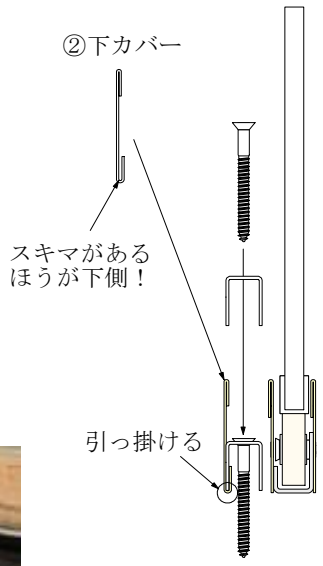
手順６. 下カバーの取付

a. ②下カバーを④エンドキャップの内側に納め、端の③取付車レール(中央)の取付車ホルダーとの間に⑥固定具を右下図のように固定してください。
b. ②下カバーを③取付車レール(中央)にあてがいながら、200㎜ピッチで設けている取付車ホルダー付近に⑥固定具を右下図のように固定していってください。
C. ②下カバーを最終的に反対側の④エンドキャップに納め、⑥固定具を用いて固定してください。
※⑥固定具は必ず両端の固定と、200㎜ピッチでの使用となります。
注)②下カバー取付時は⑧外側引戸ガラスが脱落しないように常に一人は保持するように行なってください。



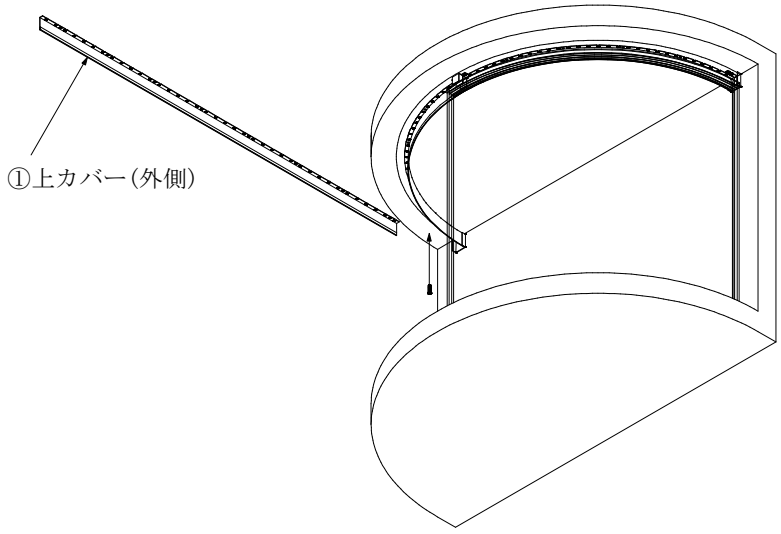


注) 両端と取付車ホルダー隣接する位置に⑥固定具をつける。

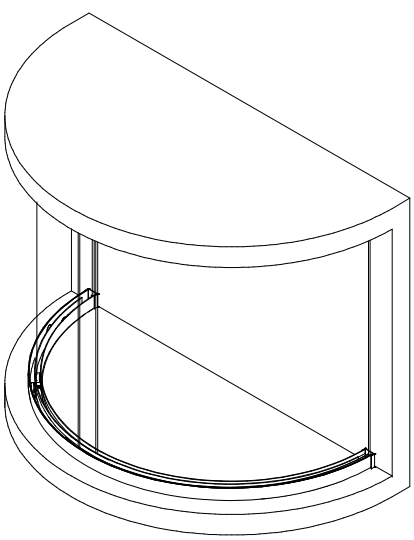


手順７. 上カバー(外側)の取付

①上カバー(外側)を上部の④エンドキャップの内側に納め、外径線に沿わせながら、端から順にネジで固定し、最終的には反対側の④エンドキャップに納めてください。また、両端部分は「手順３」の①上カバー(内側)の取付と同様に、カジリ部にもネジを固定してください。
注)①上カバー(外側)は大変しなりやすく変形する恐れがございます。この作業は、①上カバー(外側)を変形しないように保持する人を含め、最低でも３人で行なうようにしてください。



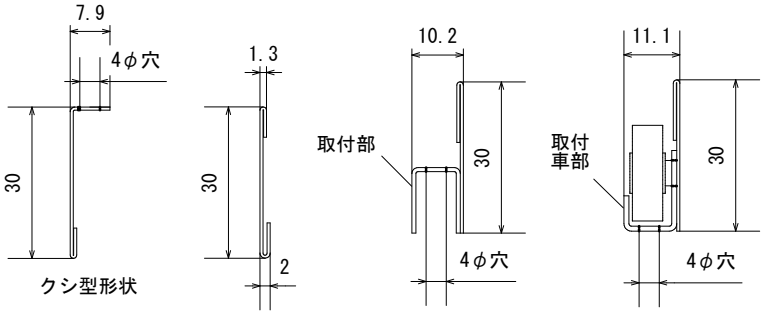
完成



ステン曲げレール　引分用　取扱説明書

曲げレール　レール部材、部品詳細

①上カバー　②下カバー　③ＦＩＸ用レール　④取付車レール

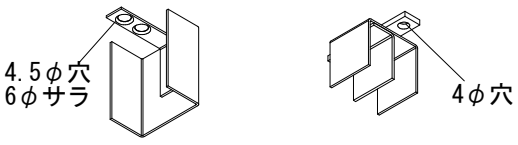


※長さはすべて3,000㎜

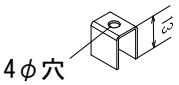
取付(車)部×15ケ
(200㎜ピッチ)

・部品詳細　(金具一式　1組　および　追加振止　1個)

⑤ｴﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ　×　4個　⑥振止×2個



⑦固定具　×　15個



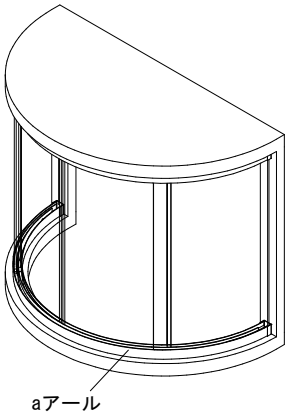
・木ﾈｼﾞ15本付き

レール類　及び　引戸硝子・FIX硝子の寸法設定

正面から見たカバー部の外径アールを「aアール」とした各々の部材の計算式を次に表します。

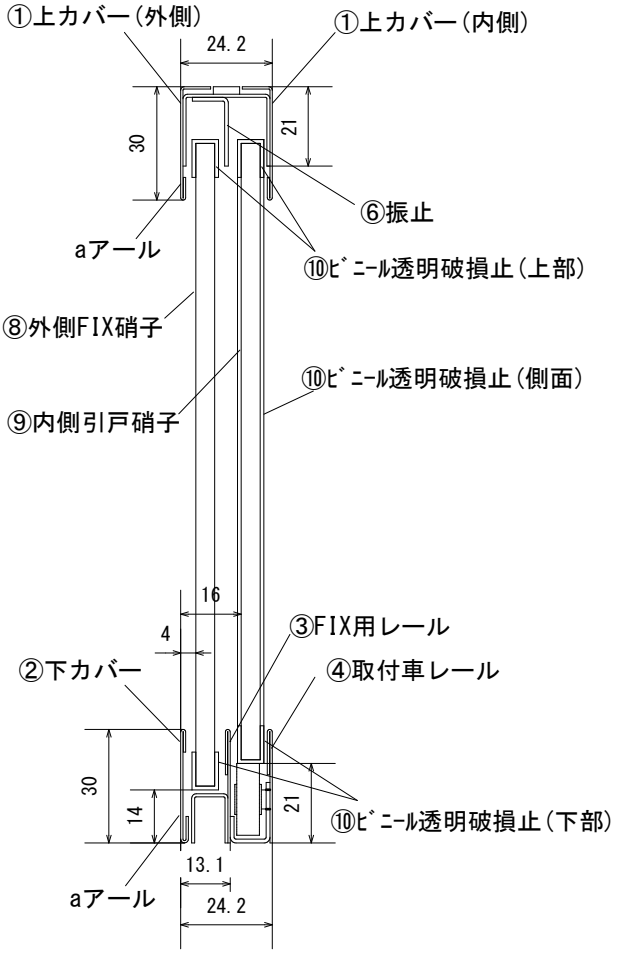
・⑧外側FIX硝子
　硝子アール = a-4
　硝子ワイド = (a-4) × π ÷ 4 + 25
・⑨内側引戸硝子
　硝子アール = a-16
　硝子ワイド = (a-16) × π ÷4 + 24
⇒⑧、⑨の硝子高さは右図を参考に、かかり等を考慮して算出してください。

注意：⑧と⑨で高さが7ﾐﾘほど異なりますのでご注意ください。

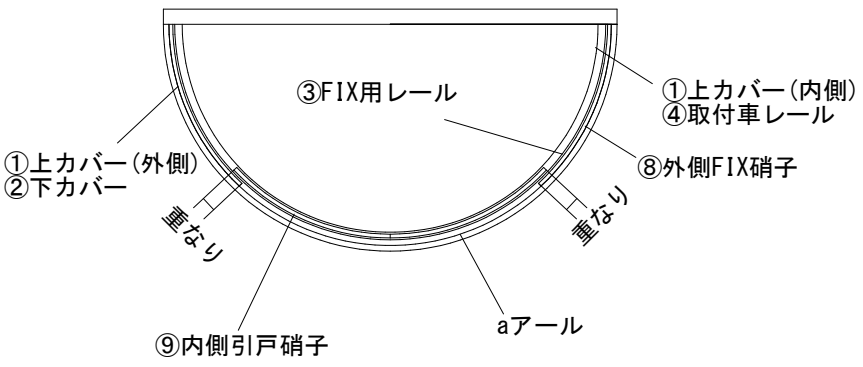


・①上カバー(外側)、②下カバー
　長さ = a × π - 5
・①上カバー(内側)、④取付車レール
　長さ = (a-24.2) × π - 5
・③FIX用レール
　長さ = (a-13.1) × π - 57

※単位は㎜です。
π = 3.14で計算してください。
FIX硝子と引戸硝子の重なりは50㎜とします。
また、上記の式は半円(180°)のタイプのものです。それ以外でご使用される場合は角度に応じて調整する必要があります。

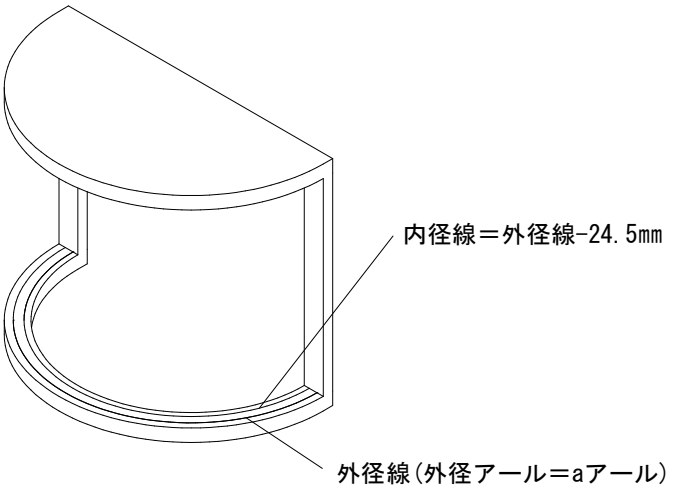


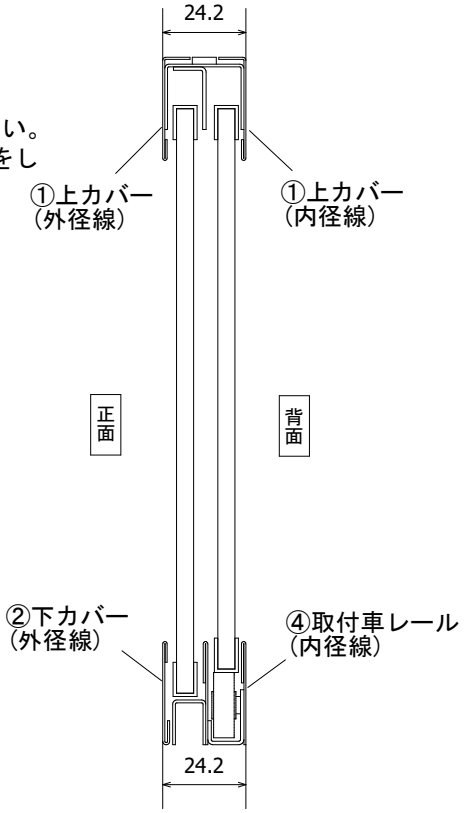
※硝子は外側のアール表記になります。
また、上カバーは内側と外側で長さが異なりますのでご注意ください。



手順1　レールを取り付ける位置の線出し

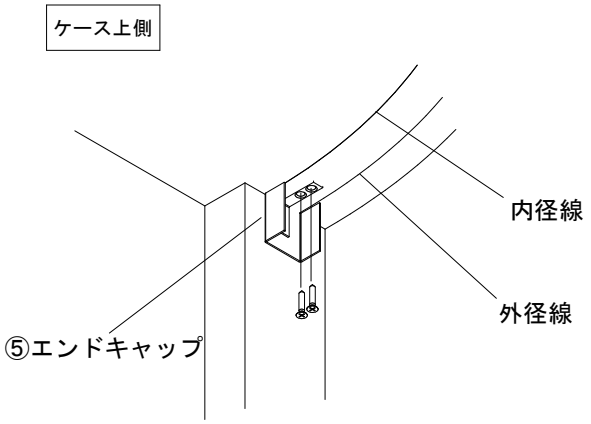
a. 外径線は正面側からみて外径アール(aアール)にあたる線出しを行なってください。
b. 内径線は外径アール(aアール)より24.5㎜控えた内径アールの線出しを行なってください。
c. 上下の線出しを行なった後に⑧⑨の硝子がそれぞれ線の内側に納まっているかを確認をしてください。

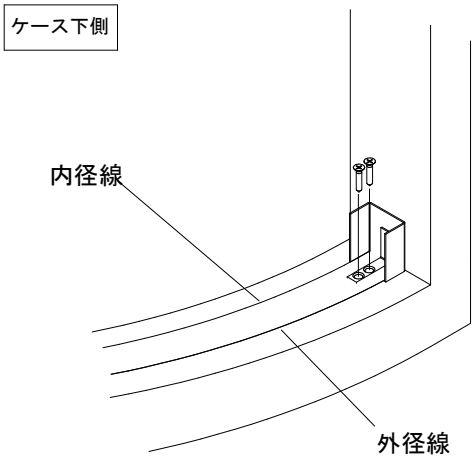




手順2　エンドキャップの取付

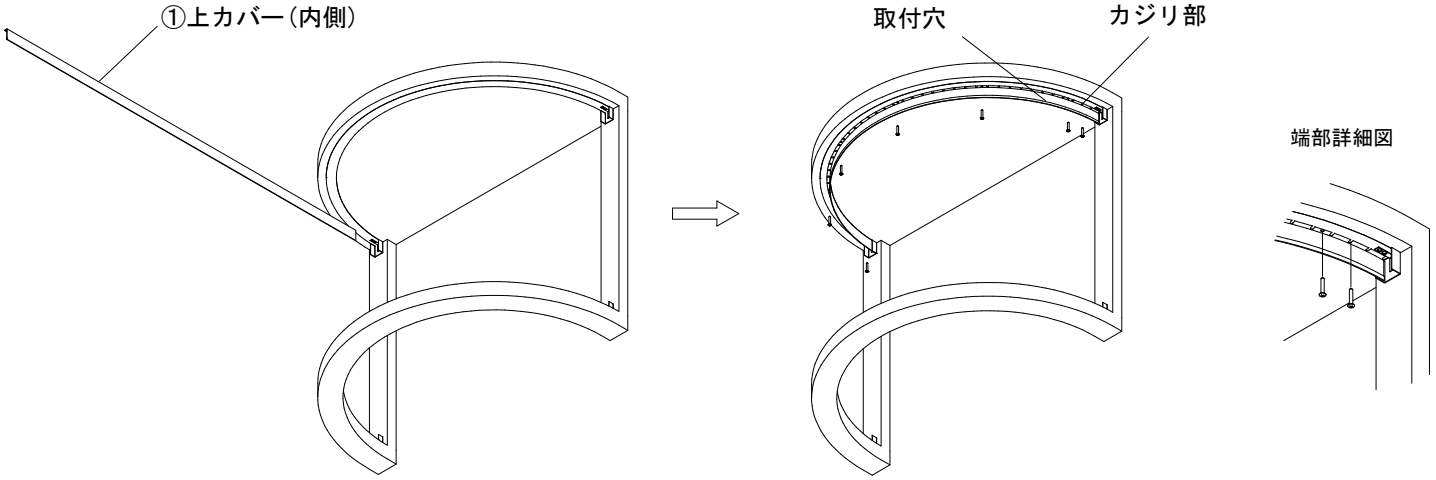
⑤エンドキャップをケース上下ともに、両端にネジで「手順1」で線出ししたラインをまたぐよう固定してください。
(上下各2個ずつ。)





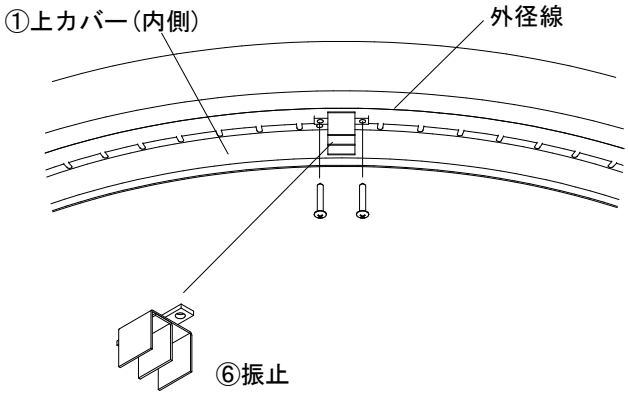
手順3　上カバー(内側)の取付

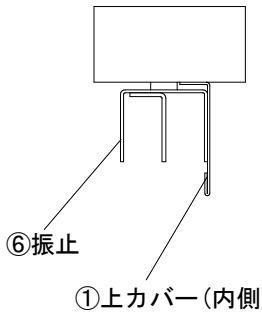
①上カバー(内側)を上部の⑤エンドキャップの内側に納め、内径線に沿わせながら、端から順にネジで固定し、最終的に反対側の⑤エンドキャップに納めてください。また、両端部分は反り防止のために、図のように取付穴以外にもカジリ部を利用して固定してください。
注)①上カバー(内側)は大変しなりやすく変形する恐れがございます。この作業は、①上カバー(内側)を変形しないように保持する人を含め最低でも３人で行なうようにしてください。
①上カバーの長さは内側用と外側用の2種類あるので、短いほうを使用してください。



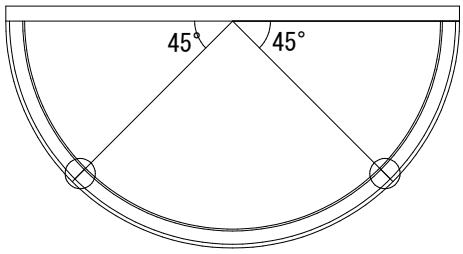
手順4　振止の取付

⑥振止は振止取付位置図の〇内(重なり部)に①上カバー(内側)に沿わせながら、外径線におさまるようにネジで固定してください。





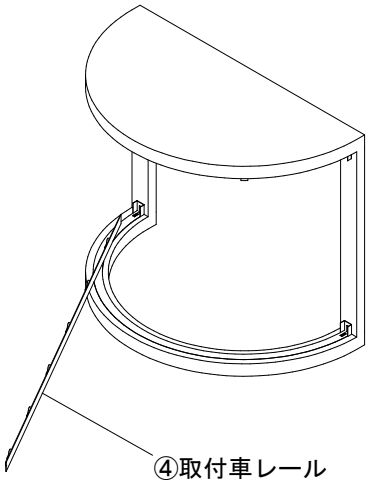
・振止取付位置図

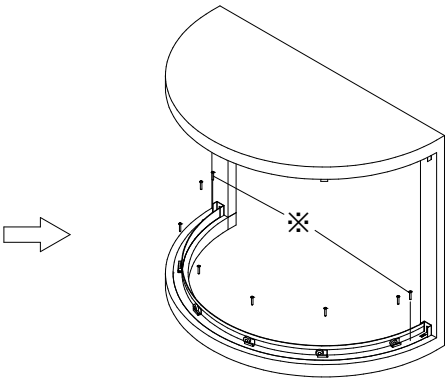


〇内はFIX戸と引戸の重なり部

手順5　取付車レールの取付

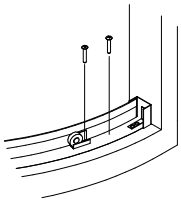
④取付車レールを下部の⑤エンドキャップに納め、内径線に沿わせながら、④取付車レールの取付車部に設けている取付穴に端から順にネジで固定し、最終的に⑤エンドキャップに納めてください。
また、両端部分は反り防止のために、端部詳細図のように取付穴以外の端側にもネジを打ってください。





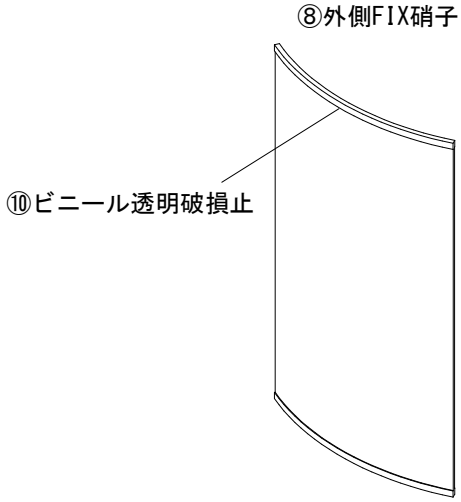
※端はネジで反り止め

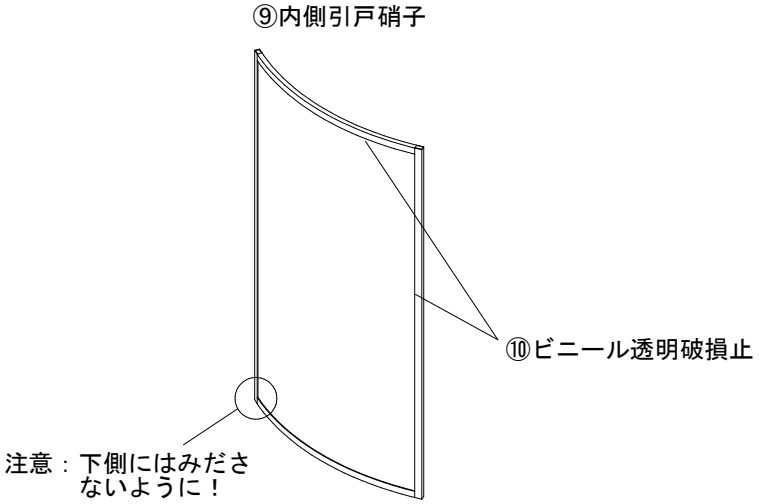
端部詳細図



手順6　硝子へのビニール透明破損止のセッティング

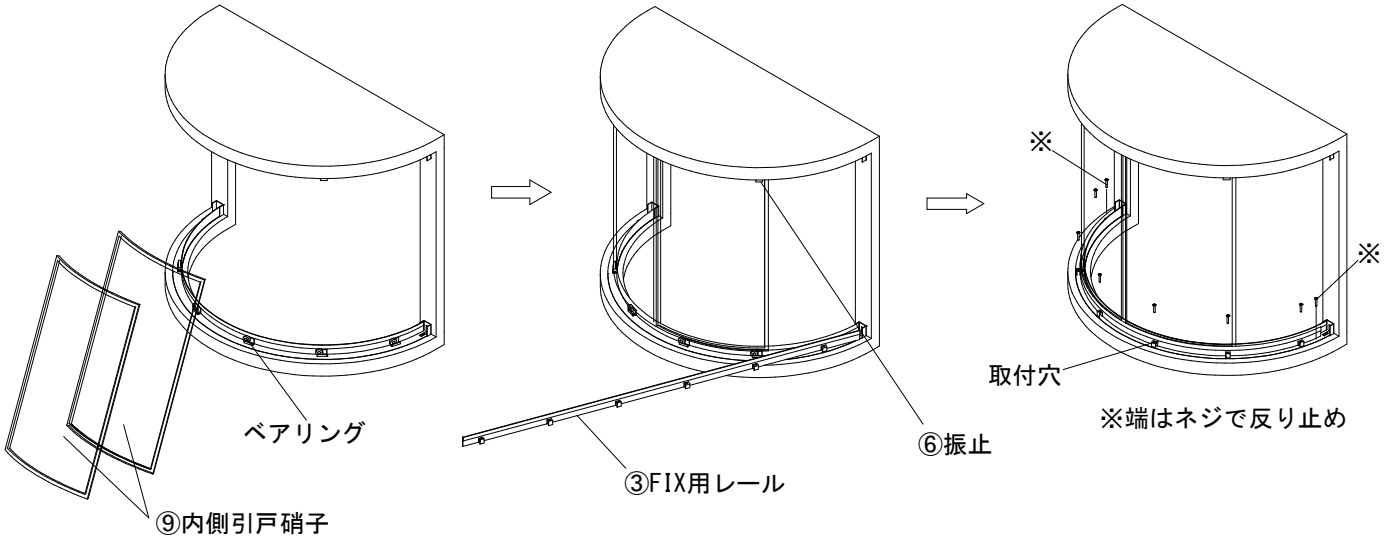
・⑧外側FIX硝子の上下側には硝子ワイドいっぱいに⑩ビニール透明破損止を両面テープや接着剤を併用して固定してください。
・⑨内側引戸硝子の左右側には硝子高さいっぱいに⑩ビニール透明破損止も同様に固定してください。
同様に、上下側も左右に固定したものの内側におさまるように固定してください。





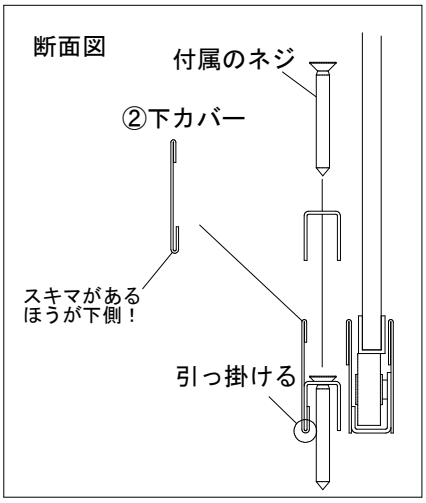
手順7　内側引戸硝子の取付 及び FIX用レールの取付

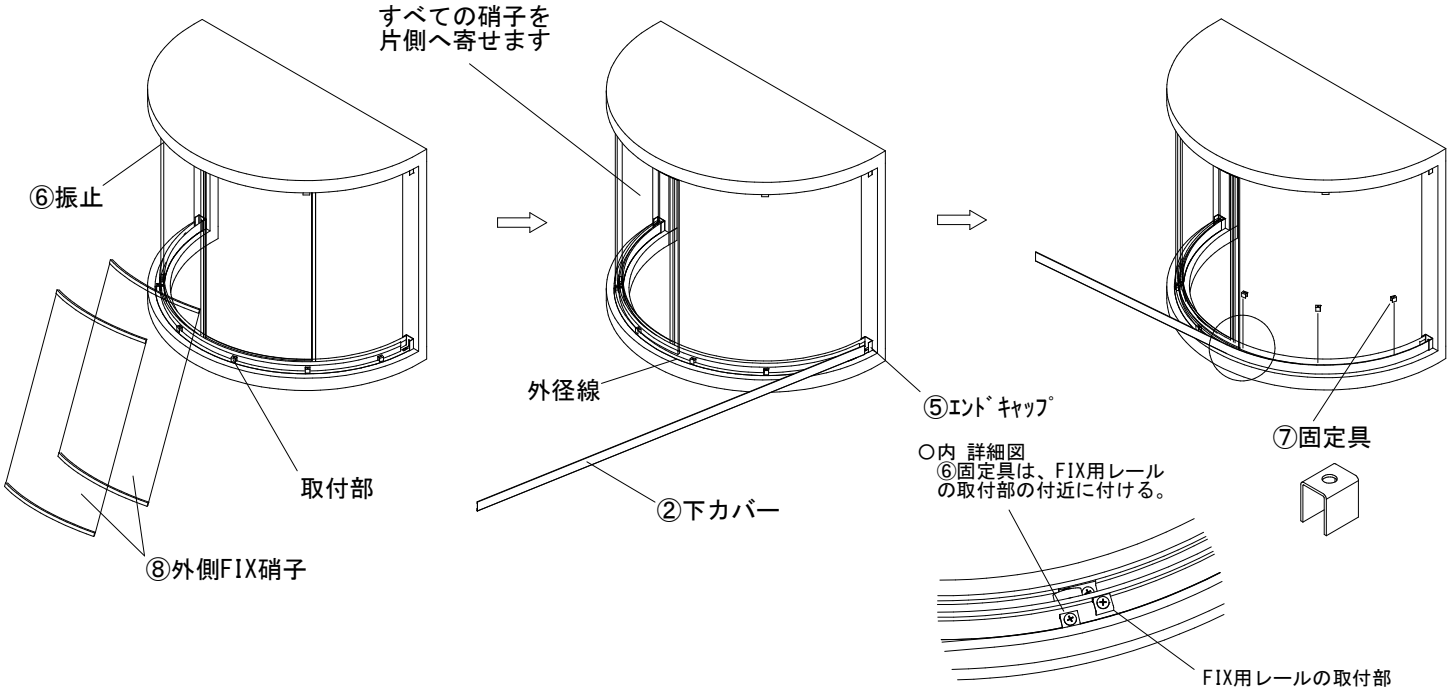
・⑨内側引戸硝子を④取付車レールのベアリングの上部に乗せながら、⑥振止の奥側を通過するように２枚ともセットしてください。
・③FIX用レールを先に固定した④取付車レールに押し付けながら、端から順にネジで固定してください。
また、両端部分は反り防止のために、図のように取付穴以外にもネジを打ってください。
注）③FIX用レールの取付時は⑨内側引戸硝子が脱落しないように常に一人は保持するように行なってください。



手順8　FIX硝子の挿入から下カバーの取付

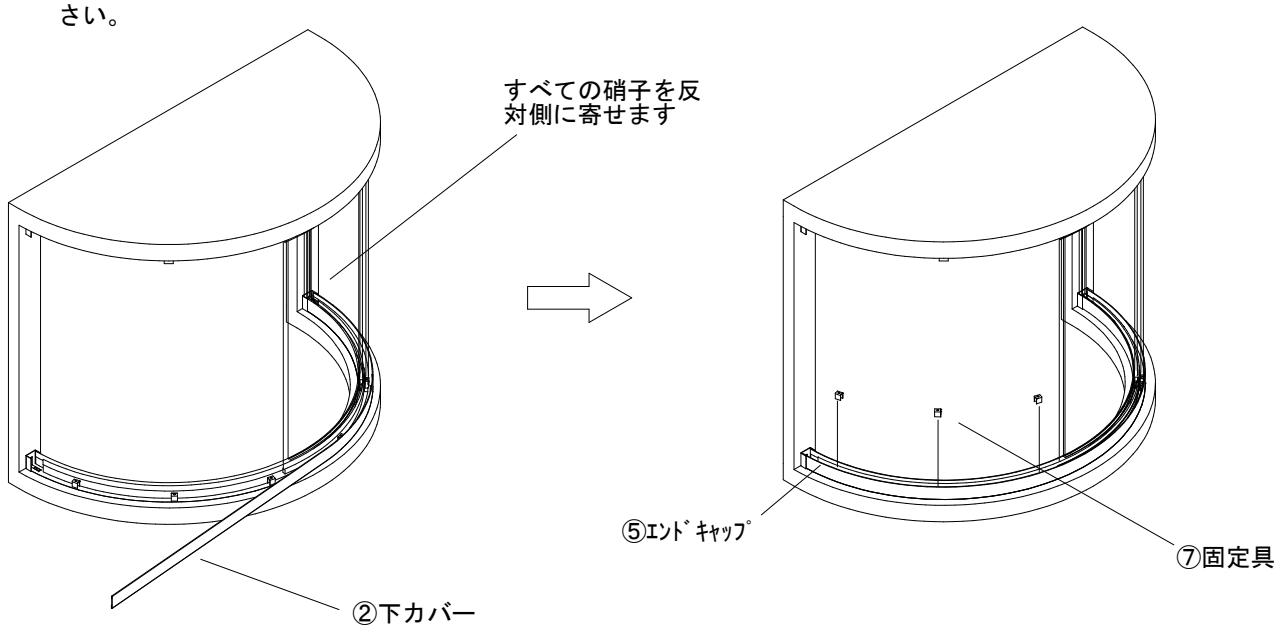
・⑧外側FIX硝子を③FIX用レールの取付部の上部に乗せながら、⑥振止の手前側を通過するように2枚ともセットし、すべての硝子を片側に寄せてください。（下図の場合、左側へ）
・②下カバーを⑤エンドキャップの内側に納め、外径線に沿わせながら曲げていき、断面図のように⑦固定具を②下カバーに引っ掛けてねじで固定していき、まず右下図のように中程まで固定してください。
その際、下図○内のように⑦固定具は②FIX用レールの取付部に極力近いところで、付属のネジで固定するようにしてください。
注）下カバーの取付時は⑧外側FIX硝子が脱落しないように常に一人は保持するように行なってください。



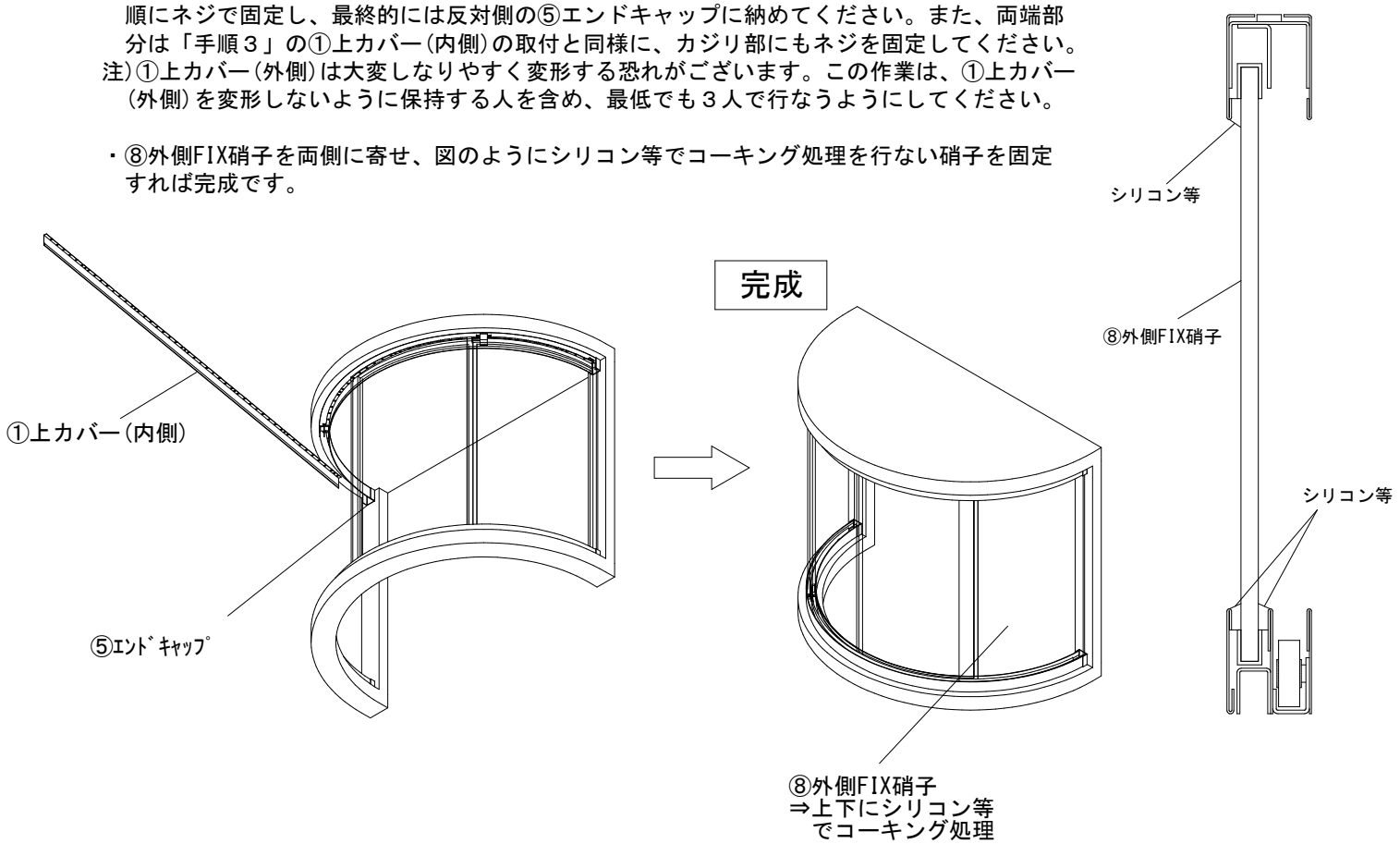


手順8　FIX用レールの挿入から下カバーの取付　・・・つづき

・すべての硝子を反対側に寄せてください。（下図の場合、右側へ）
・②下カバーを反対側の⑤エンドキャップへ納め、同様に⑦固定具を③FIX用レールの取付部の付近に付属のネジで固定してください。
⇒⑦固定具は②FIX用レールの取付部の付近に付けるため200ﾐﾘピッチ程度でつけることになります。そのためレールの間口によっては多少余ります。
注）②下カバーの取付時は⑧外側FIX硝子が脱落しないように常に一人は保持するように行なってください。



手順9　上カバー(外側)の取付　及び　外側FIX硝子のコーキング

・①上カバー(外側)を上部の⑤エンドキャップの内側に納め、外径線に沿わせながら、端から順にネジで固定し、最終的には反対側の⑤エンドキャップに納めてください。また、両端部分は「手順３」の①上カバー(内側)の取付と同様に、カジリ部にもネジを固定してください。
注)①上カバー(外側)は大変しなりやすく変形する恐れがございます。この作業は、①上カバー(外側)を変形しないように保持する人を含め、最低でも３人で行なうようにしてください。

・⑧外側FIX硝子を両側に寄せ、図のようにシリコン等でコーキング処理を行ない硝子を固定すれば完成です。